



# 創造的知財戦略の 実現に向けて

理事・副学長・産学連携本部長

石川正俊

## 東京大学の知財関連整備状況

### 組織整備

- ・産学連携本部(3部体制)の発足
- ・東京大学TLOとの連携
- ・東京大学エッジキャピタルとの連携

### 規則整備

- ・機関帰属を原則とする知財運用開始
- ・多様な知財に対する学内規則の整備
- ・秘密保持、出所由来表示等への対応
- ・利益相反マネジメントの積極的対応

### 運用整備

- ・知財運用の東京大学モデルの確立
- ・迅速化、オンライン処理、海外対応
- ・窓口の一本化と例外処理の柔軟対応
- ・新スキームProprius21の開発
- ・共同研究の運用の弾力化

### 共同研究

共同研究・受託研究の急激な増加

平成14年度	417件	19.2億円
平成15年度	543件	25.0億円
平成16年度	742件	33.9億円

注：平成16年度外部資金合計536億円  
(医薬品等臨床研究等を除く)

### 知的財産

東京大学TLOが扱った案件

- 1000件を超える特許出願
- 280件のライセンス
- 累計28億円超のライセンス収入

### ベンチャー

東京大学エッジキャピタルの案件

- 83億円を超える出資金を運用
- 10社への投資を決定



知財戦略が「**創造的**」であることの2つの意味

真に「創造的」な  
研究成果・知財  
の創出と活用

真に「創造的」な  
知財・契約実務  
の提案と実践

## 真に「創造的」な研究成果・知財の創出と活用

独創的な成果は、積極的知財戦略の必要条件

### 21世紀の知的生産構造の特徴

- ・「アナリシス」から「シンセシス」へ
- ・「真理の探究」から「価値の創造」へ
- ・「どう作るか」から「何を作るか」へ
- ・「実証主義的」から「仮説演繹的」へ
- ・「ディシプリンの形成」から「トランスディシプリナリィな展開」へ



### 真に創造的な研究成果の創出

- ・「キャッチアップ体質」からの脱却
- ・「創造的であること」の積極的評価
- ・長期的コアコンピタンスの創出
- ・研究開発投資の効率化とリスク分散
- ・「防御的特許」から「創造的特許」へ
- ・「改良的特許」から「基本的特許」へ

知財の創出と活用による社会還元＝価値の創造